
例の少年は川から来る

架空奇人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

例の少年は川から来る

【Nコード】

N97800

【作者名】

架空奇人

【あらすじ】

桃太郎みたいな感じだけど実は違うみたいな。

昔、昔あるところに・・・じゃなくて去年、近所の川の側にお爺さんとお婆さんがいました。お爺さんはいつも山に芝刈りにお婆さんは川に洗濯に行っていました。ただどお爺さんが「今日は洗濯がしたい！」と言ったせいで今日はお爺さんは川に洗濯に、お婆さんは山に芝刈りに行きました。

お婆さんは凄いスピードで格好よく芝を刈っていました。その動きはまるで侍。素早く鎌を腰の入れ物から抜き、鎌を振ったら、すぐにしゃがみ、その状態で待っていたら、背中のかごに入る。という凄い技をしていた。

一方、その頃お爺さんは川を見ながらくつろいでいました。するといかにも大きな桃が川の上流から、ドンブラ~~~~~と~~~~~んは腰が痛かったのですが、それを我慢して陸に桃をあげました。桃を見ているとお爺さんはお婆さんにあげるのはもつたいないように思えてきました。そこでお爺さんはここで食べる事にしました。大きな桃を外の方から食べ、だいぶ身がなくなった後にもう一度流しました。

その川の下流で洗濯をしていた別の家のお婆さんは桃の身がなくなって、溺れそうになりながら流れてきた、可笑しい少年を見つけました。それをお婆さんはそばにあった釣竿で的確に釣り、無事に痛かったけれど陸上にあげることができました。その少年を家に持って帰った下流のお婆さんは下流のお爺さんとこの子供を育てる事にしました。名前は桃で溺れてたことから、溺桃デキトウと名付けました。

お爺さんとお婆さんはこの子を学校にいれることにしました。

溺桃は学校でテキトウ、テキトウとか

溺れる桃とか呼ばれて少しずつグれていきました。お婆さんはそんなことも知らず、行きたくもない上流のお爺さんの家に無理やり溺桃を送り込むことにしました。溺桃は最初はメンドと思っていましたが、途中からむしろ都合だと考え始めました。

そして何日か経ち、溺桃はゲーム機とアイスを持ち、上流のお爺さんの家に向かいました。それは表の姿で実はアイスを食べながら、ヤクザの本部に向かいました。到着して、溺桃はヤクザの幹部にいずれになり、平和???な暮らしをしたとき。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9780o/>

例の少年は川から来る

2011年10月8日01時52分発行